

要旨

安価に設置可能な Bluetooth ビーコンと、高い普及率をもつスマートフォン上のアプリを用いた出欠管理システムを紹介します。学生の授業への出席状況を自動的に集約して個々の学生への学修指導に活用すると共に、ビッグデータとしてキャンパス運用に活用することが狙いです。

対応 OS

学生

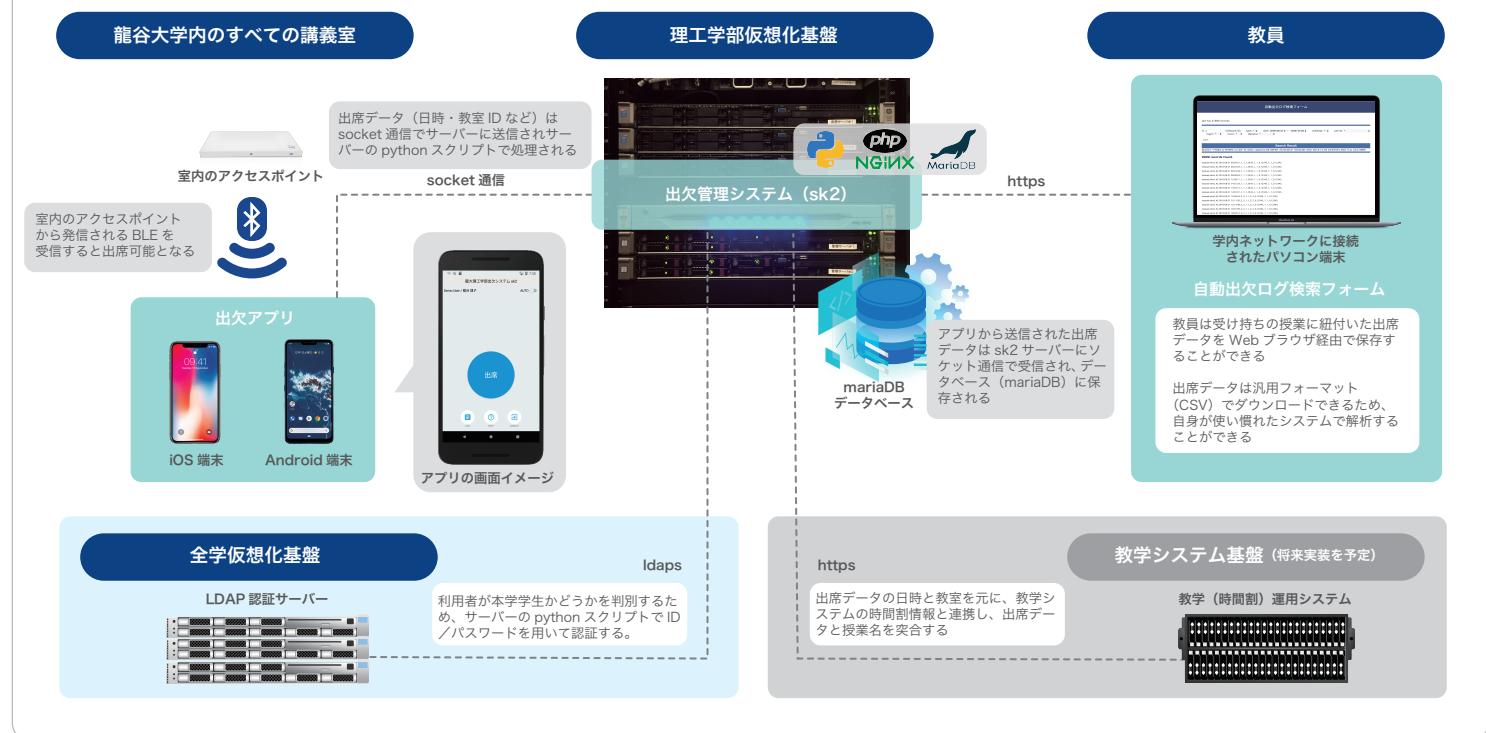
- Android 5 以上
- iOS 10 以上

教員

- Google Chrome 最新版
- Firefox 最新版
- Safari 最新版
- Edge 最新版

※ ブラウザベースで利用できます

システム概要図



導入効果

本システムを利用する上で期待できる効果は、利用者の立場によって様々あります。ここでは次の三面に定義し、それぞれの立場での効果をまとめました。

1. 利用面の効果（学生）

自分のスマートフォンでアプリを起動し、全学認証IDでログインしておくだけで、講義等への出席情報をサーバに記録することができる。この情報を使って自分の出席状況を把握したり、講義への出席を証明することができる。

さらに、自動送信機能を使うことで、アプリを起動したスマホを持ち歩くだけで出席情報が記録される。また、この出席記録を使うことで、従来の方法で出席確認に費やしていた授業時間を学習に有効に活用することができる。

2. 利用面の効果（教員）

受け持ち授業の出席データは Web ブラウザを経由して簡単に取得することが可能。授業中は、アプリで出席をするよう学生に指示するだけで良いため、出席を取得する手間を大幅に軽減が期待できる。

取得した出席データは、サーバー上に保存されているため、いつでも必要なときに、取得することが可能。取得したデータは CSV 形式でローカルに保存することも可能である。

3. 管理面の効果

学生の出席データは、成績としての価値よりも、学生の活動状況の把握データとしての価値のほうが、より高いと考えられる。

個人個人の活動ログとしての価値はもとより、学科や学年、年度の傾向を得るためにデータとしての利用が期待でき、本システムは、ビッグデータ解析のデータソースとしての利用も視野に入れられた設計となっている。

今後の発展

2019年度、理工学部全体でさらなる試験運用を行い、利用者のフィードバックを受け、アプリやログ検索フォームの使い勝手や機能のブラッシュアップを実施します。2020年度には、理工学部だけでなく、他学部でも活用できるよう、大学全体への認知の向上や普及の促進を行う予定です。



2020年4月
先端理工学部 に生まれ変わります



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

理工学部

瀬田キャンパス

大津市瀬田大江町横谷1-5

Tel 077-543-7730

Fax 077-543-7749

rikou@ad.ryukoku.ac.jp

ACCESS 龍谷大学 瀬田キャンパス

大阪、京都、神戸からも
抜群のアクセス

JR京都駅 → JR瀬田駅 17分

JR天王寺駅 → JR瀬田駅 61分

JR琵琶湖線 瀬田駅下車
キャンパスまでバス

8分

45分

67分